

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学附属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学附属高輪台高等学校同窓会
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol.17

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学附属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

六十周年記念式典で お待ちしております。

高輪会会長 土方 啓 司



高輪会会員の皆様におかれましては益々ご健勝の御事とお慶び申し上げます。

昨年10月には第4回屋形船懇親会を企画し、今迄定番だった屋形船と異なり趣も新たに「もんじゃ焼き」としました。多くの会員皆様に参加をいただき有難うございました。下船時間が未だ宵の口だったこともあって、その後、各学年・同期の方々に二次会の方に行かれた方が多かったのも後程、知りました。年末に向けては兄弟校である相模高校同窓会の創立45周年記念式典、付属第二（現：熊本星翔）高等学校創立50周年記念式典とお祝い事が続いた年でした。年が明け3月には新卒業生、中等部90名、高等学校410名の卒業証書授与式が4日に行われました。高等学校卒業生は新しく高輪会会員となることから卒業式に先立って2日に高輪会入会式が母校アリーナにて行われ、入会式後、各組から選ばれた同窓会幹事9名と高輪会役員とで歓迎昼食会が行われました。本年卒業生410名を迎えて高輪会としての累計は25,163名の大きな会となりました。

高輪会は、その原点となる東海同窓会が1951(昭和26)年に創立されてから60年の歳月を超したことになります。それに合せた形にはなりませんが「歴代校章額」を寄贈、校長室・正面玄関に展示したことは前年号にてお知らせしました。

本年は高輪会の母体である東海同窓会が創立されて60年を超えましたので2012(平成24)年11月25日、母校において「高輪会創立60周年記念式典」を挙げるべく役員一同頑張っております。詳しくは後頁の「記念式典案内」をご覧ください。算術的に60年とは言っても、その間、太平洋戦争・敗戦・戦後の混乱等々を経て今日、母校がこのような隆盛を見ているのも先人・先輩達が多くの艱難辛苦を乗り越えて来たからこそと感謝しております。近年では母校の歴史・生立ち等に触れる機会も少なくなり「歴史の彼方に忘却」ではいけない。役員会でも、この年を契機に母校の歴史を今一度見直し将来の糧にすべきとなり記念誌を刊行することにしました。誌タイトルも単に「高輪会誌」あるいは「60周年記念誌」ではなく、今「過去・歴史」を見直すんだと言う意味を込めて「高輪会史」とした訳です。本年11月の「高輪会60周年記念式典」に参加いただける皆様には、この「高輪会史」と記念品をお持ち帰りいただくよう考えております。このような記念式典は次回と言うことのない本年限りの式典です。万障お繰り合わせのうえご参加いただき、吾等が母校の生立ち・歴史に想いを馳せたいと願っております。記念式典でお会いしましょう。

高輪台高等学校ホームページ改定のお知らせ

会員の皆様とよりスムーズな繋がりが出来るように、本年5月から高輪台高等学校ホームページ「同窓会欄」を改定しました。今までは皆様に高輪会の「会則・役員・会報」について提供して来ましたが、新たに以下の項目を追加しました。



●「高輪会ニュース」

年1回の高輪会会報では伝えられないような最新ニュース・イベント情報等をお伝えして行きます。

●「お問い合わせフォーム」

会員登録事項の変更、ご要望等をお聞きし高輪会活動の活性化を目指します。

操作はホームページのトップにあります **卒業生のみなさまへ** をクリックし同窓会ページに入ってください。 **会則** **役員** **会報** **高輪会ニュース** **お問い合わせフォーム** が表示されますので見たい項目をクリックして高輪会の最新情報をチェックしたり、高輪会とご連絡にご利用ください。

「高輪会創立60周年記念式典」のご案内

高輪会は、その母体となる東海同窓会が1951(昭和26)年に創立されてから60年を超えたことになります。その間、同窓会にとっては不幸な時期もありましたが、今日は母校・同窓会員の力強い応援の基に活発な活動を続けております。この60年の歳月を無にせず歩んで来た歴史を後世に残そうとなり、「高輪会創立60周年記念式典」に合せて「高輪会史」を発刊することになりました。「高輪会史」には我々が知らなかったこと

も記載されており、高輪会60年を一つの節目として『母校に還ろう』を合言葉に母校・恩師・同窓会員が一堂に集まり歓談していただくと共に、本年は東海大学海洋学部の「根元謙次教授」に超音波を利用して海底・海底下をどのように視覚化するのか最新の海底探査手法の紹介と、これを応用したところ『蒙古襲来の軍船発見』に至った経緯をお話ししていただきます。どうぞ、ご期待ください。

〔日 時〕2012(平成24)年11月25日(日) 開場:13時00分 開式:13時30分～

〔場 所〕母校「東海大学付属高輪台高等学校」

〔会 費〕7,000円

〔講 演〕「海底探査と元寇軍船の発見」

東海大学 海洋学部 海洋地球科学科 理学博士 根元 謙次 教授

※会費は式典準備の都合上、同封の振込用紙にてお支払いください。
なお、当日も会費・維持会費の受付はさせていただきます。

※当日で参加出来ない方でも「高輪会史」「ムジカフレスカ歌集DVD」ご希望の方は、下記金額にてお受けいたします。但し部数に限りがありますのでお早めにお申込みください。
お申し込みは同封の振込用紙、又は高輪会HPにてお受けします。

□「高輪会史」送料込み 4,000円 □「ムジカフレスカ歌集」送料込み 1,000円

60th
Anniversary

当日で参加の皆様には発刊された「高輪会史」をお渡しすると共に第6回定期総会で好評をいただきましたムジカフレスカ歌集DVDもお持ち帰りいただきます。勿論、歌集の中には「建学の歌」や「逍遙歌」等の学園歌がムジカフレスカ

さんの歌声で入っております。

当日は多くの恩師にもお声を掛けております。詳しい状況は高輪台高等学校ホームページにてご案内させていただきますので、そちらもご覧ください。

高輪会「第4回屋形船懇親会」報告

高輪会では会員皆様の親睦を図るため毎年いろいろ企画をしてまいりましたが、今回は第4回屋形船懇親会を月島の千羽丸さんで行いました。

昨年10月19日(土)勝どき駅近い乗船所より15時集合、15時30分出航、気候も暑くもなく寒くもなく天候にも恵まれた屋形船でした。

昭和52年卒の西嶋和宏氏の開会の辞で始まり、続いて土方会長の挨拶、学校から小林潔副校長の挨拶、中田清恵後援会副会長の紹介、そして高輪会に対して多大な協力をいただいています昭和36年卒の胡屋謙一郎氏に感謝状贈呈をさせていただき、昭和26年卒戸谷謙治大先輩の乾杯で懇親会はスタートしました。

今回は前回までとは趣を変えまして下町のもんじゃ焼をメインとして、めんたいもちチーズ、ぶた天、お好み焼き、焼きそばなど食べ放題、飲み物もありますが、飲み物や乾きものは持ち込自由でした。

参加の皆さんは若いころ食べた、もんじゃ焼に懐かしそうにして食べていました。又、それぞれの作り方があって、喧々諤々大変盛り上

がりテーブルごと皆さんお代りをしていました。持ち込みした日本酒と焼酎は大変人気で一升瓶は最後には全て飲み干してなくなっていました。

最後に閉会の辞を高輪会監査役であります、昭和27年卒伊藤信雄氏で終了とさせていただきました。

2時間余りの懇親会でしたが、参加者の皆さんも楽しんでいただけたと思っております。

参加者は、昭和26年卒業2名、27年卒1名、33年卒1名、36年卒14名、40年卒2名、42年卒2名、45年卒4名、49年卒4名、52年卒7名、53年卒1名、59年卒1名、平成14年卒1名、21年卒1名、学校と後援会より4名、合計で45名の方々でした。

今回も学校の先生方をはじめ、高輪会の役員その他の方々の協力のもと無事第4回屋形船懇親会を終えることができました。ありがとうございました。

今後もいろいろな企画も考えて皆さんが楽しんでいただけるよう努力していきますので、ご感想ご意見ご要望などいただきたいと思いますのでこれからも宜しく、高輪会発展にご協力お願いいたします。

副会長 広村 直行



同期会の便り

● 昭和26年卒 同期会「S26会 H23 年度同期会」 <出席人数：16名 会場：三浦海岸ホテル、横須賀>



お互いの信頼感を深め絆を強くし再会に向けての力を生み出す、そう云う効果が同期会にはあるらしい。仲間が集い酒を酌み交わし何時終わるとも知れず歓談し、時至れば再会を約して別れる、ただそれだけのことなのだが…。

S26会ではそのような同期会を平成5年からほぼ毎年のように開催している。永いこと幹事は交代制であったが4年ほど前から常任制に決めている。メンバーがいい年になり元気なヤツが幹事をした方が永く続くのではないかと云うのがその理由である。

一昨年、昨年と2年続けて熱海で冬の花火を肴に忘年会を兼ねた同期会をやった。「冬の花火が一番綺麗ですよ」と云う地元タクシーの運転手さんのPRに乗ったのだが期待に違わず素晴らしかった。海側の部

屋で酒を酌み交わしながら観る花火は空気が澄んでいるせいか色彩が鮮やかで特にフィナーレを飾った空中ナイヤガラは圧巻であった。

次は場所を変えよう云う事で今年は新鮮な海鮮料理が自慢の三浦海岸のホテルで12月の始めに忘年会兼同期会を開催した。16名が参加し豊富な酒で夜遅くまで多に盛りあがった。翌日は日本唯一と宣伝しているクルージングツアー【YOKOSUKA軍港めぐり】を楽しんだ。海軍港として歴史を重ねる横須賀港に停泊しているアメリカ海上自衛隊の艦船を身近に見られるツアーで折から入港していた原子力空母ジョージワシントンの威容に感心し、潜水艦が意外に大きい事や掃海艦が木製である事に驚き、ウグイス嬢の名調子に45分間のツアーがとても短く感じられた。仲間からは「少年に帰った様な…」と云う声もあり楽しい1日であった。

来年は我々も傘寿を迎える。人生7掛けの時代、その実感はないが来年は豪華にやろうと云う声が多い。幹事としては期待に応える同期会にしたいと思っている。

● 昭和36年卒 同期会「三六会古希記念同期会」 <出席人数：26名 会場：新宿エルタワー地下2F>

三六会代表幹事 名古屋 一樹

平成24年7月7日 新宿西口、エルタワーの地下2階にある飲食店で古希記念の同期会が行われました、古希(70歳)になった同期の面々も会って話せば、高校生となる不思議な空間が同期会です。昭和36年当時の校名は東海電波高等学校、電気通信科、電子科があり男子校でした、クラブ活動はありましたが対抗試合が禁止されていました。それは戦後の日本の復興が進み洗濯機、冷蔵庫、白黒テレビなどが普及し始め、ステレオ時代へ向かって動き始めた頃でした。

ラジオのNHKの第1と第2、民放では文化放送とニッポン放送が、それぞれ左右の音楽信号を放送し、受信側も2つの受信機でステレオ放送を楽しみました。

この様な時代の企業活動に対応すべく、学校では実験項目が数多くあり、そのレポートは担当の先生の面接を受けてから提出する大変実践的なものでした。



それから52年間日本の経済発展に、様々な活動を通じて貢献してきました。

未だに現役で仕事をしている人が参加者の多くいます、働くことが好きな年代なのでしょう。今回の同期会に清水智明先生、小松山磐先生、志村義樹先生にご参加いただき楽しいお話を聞かせていただきました。その他いろいろな話がありました、やはり古希を迎え健康問題の話も多く聞かれましたが、ハーレーダビッドソンに跨って北米大陸を縦断した話、毎年冬はスキー場で指導員を続けている話、第3の人生をスナックのマスターとしてスタートした話などここでは紹介しきれない話を目を輝かせて話していたのが、印象的でした。

最後に高輪会の土方啓司会長も三六会の同期会員として、沢山の情報を寄せてくれました。次は傘寿の記念三六会が開催できるように頑張りたいと思います。

2012(平成24)年高輪会入会式・新幹事歓迎昼食会

2012(平成24)年3月4日「第3回中等部・第63回高等学校卒業証書授与式」が行われ、中等部90名、高等学校410名が卒業されました。卒業証書授与式に先立って3月2日には卒業する高校生410名の高輪会入会を祝して町田会長補佐から歓迎の言葉が述べられました。引き続いて各クラスから選ばれた新高輪会幹事9名の皆さんと高輪会からは土方会長、町田会長補佐、杉山・宍倉副会長、伊藤・大塚監査役が出席され都ホテルに於いて歓迎昼食会が催されました。昼食会では各自の自己紹介・進学先の話、将来への夢等々も出て盛り上がった会となりました。本年から、各卒年毎の代表幹事が選ばれることになり2012(平成24)

年卒代表幹事は大関翔輝さんに決まりました。これからは高輪会と第63回生との橋渡し役になってくれることを期待しています。



2012年卒新幹事の皆さんです。宜しくお願いします。

伊藤 涼	杉垣 真	藤巻 知央
大関 翔輝	中川翔太郎	山崎 涼太
近藤 駿	福村 大樹	吉田 大輝

会費納入者一覧

◎高輪会維持会費納入のお願い

高輪会の会報・郵送・行事等、全ての活動は会員の皆様から納入していただいている維持会費と入会金とから成り立っています。一人でも多くの会員皆様から維持会費を納入頂くことで高輪会活動は活性化いたします。同封の郵便振替用紙にて維持会費をご納付いただきますよう改めてお願い致します次第でございます。なお、本日現在で維持会費を納入いただいている皆様は下表の通りであり、この誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

S23	高橋 強	23	澤 利雄	14	田所 秀雄	17		鈴木 修	15		春木 敏哉	15		
S25	別所 慶信	15	島村 政男	15	中村 道彦	14		切替 良之	16	H4	野口 達也	16		
	初川 七郎	16	吹原 盛男	16	杉田 憲司	13	S51	田中 健一	13	H5	岩崎勝一郎	42		
	井坂 暉夫	38	遠藤 利夫	16	細江 英一	13	S52	山下 晃	15		小林 健一	22		
	平塚 慶治	14	丸山 和信	16	石川 安夫	16		広村 直行	15	H6	北垣 博康	17		
S26	木俣 重隆	17	藤尾 智	18	渡邊 一男	16		大頭 孝博	16		平山 学	13		
	中西 實	28	土方 啓司	32	武井 良友	16	S53	長門 秀久	14		有田 哲也	13		
	木村 睦	16	柳田 光徳	13	山本 敏一	16		谷口 元	17	H9	青木 孝平	14		
	早川 弘	18	黒須 昇一	14	S41	吉野 正道	13	野澤 秀治	14	H10	清水 正芳	28		
	井出 健一	27	波多 俊吾	17	戸叶 幹男	16		志賀 重久	15		大島日出男	14		
	石関 巖	13	山崎 弘	19	初川進一郎	16		石田 秀男	15	H11	村野 太郎	14		
	栗田 富雄	14	横山 洋一	19	久松 博	14		大島 悟	15	H12	熊澤 文久	16		
	村田 達夫	14	胡屋謙一郎	25	長井 信也	13	S54	伊藤 均	13		門田 祐輔	14		
	中島 秀夫	22	長谷川 徹	13	松岡 幹雄	17		中村 則之	20	H13	鶴岡 薫	15		
	奥山 貞男	16	新井 俊雄	14	大塚 静雄	14		飯塚 正弘	19		藤巻 祐一	13		
	坂路 誠	17	名古屋一樹	14	林 雄一郎	14	S55	小池 英敏	13		池田 文	14		
	清水 正三	17	樋口絃一郎	14	S42	堀江 文夫	13	新井 一仁	14	H14	渡辺美代子	14		
	相山 清生	17	森島 英男	15	片山 文夫	15		松宮 幸夫	24	H15	高橋 昌寛	13		
	鷹取 将夫	24	屋代 光博	16	安田 信義	14		小川 主	20	H16	小坪 央和	14		
	篠田 尚久	14	菅澤 清孝	16	後藤 有三	14	S56	巴 誠一	17		宮武 綾香	14		
	S27	星 進	13	原口 昌信	16	S43	田中 力	17	小野 朋昭	25		小田島崇光	14	
加藤 慶男		18	上条 秀夫	15		緑川 一郎	17	馬場 博規	17		武田 美帆	14		
戸谷 謙次		21	海老沢正昭	17		安田 二郎	16	笠原 健	15	H18	竹中 和宏	16		
木俣 博匡		19	石塚 鵬	16		唐木 啓助	13	S57	松本 仁志	16	倉持 隆	16		
伊藤 勉		15	大塚 昭	19	S44	萩原 治生	17	大城 正人	17		山田 航平	16		
間藤 慎三		15	石井 裕三	13		谷井 明	22	亀井 哲郎	22		大谷 彰宏	16		
伊藤 信雄		24	富山 薫順	13		山口 勇雄	16	新保 孝司	18		横田 順平	16		
吉田 申一		14	小林 俊夫	15	S45	本澤 守正	15	庄野 栄一	16		末富 亜己	13		
田辺 英之		29	大塚 雅一	15		大滝 富正	17	門馬 泰史	12		小田 暁	16		
黒尾 忠行		16	間下 圭宰	14		三橋 興司	17	佐藤 豪	19	H19	田中 惇	17		
小長井昭司		14	北野 恒介	14	S46	青木 純一	13	采女 泰之	15		長谷川瑠美	17		
松田 公治		26	飯岡 英彦	39	S47	秋山 進	15	森 公法	15		武田 千尋	17		
田島 昇		14	灰田 宗孝	22	S48	千葉 守夫	21	S58	佐久間 励	23	H20	猿谷 学	18	
渡辺 鈞		13	山中國南雄	14		岡本 信一	15		勝又 泰平	17		畠山 啓太	18	
S30		高橋 才二	15	内田 輝雄	25		守田 晃	16		大谷 謙太	17		伊藤 等美	18
S32		谷越 安男	37	西嶋 正春	19	S49	店網 邦雄	13	S59	東郷 康二	16		白石 隆平	18
S33	小林 道治	24	磯田 健一	15		穴倉 修	17		楠本 隆	16		小野瀬広大	18	
S34	千代田 栄	14	長谷川健美	15		佐々木博之	17		佐藤 義之	14		福井 真仁	18	
	市川 京子	16	町田 茂雄	16		望陀 匡輔	17		松崎 文彰	15	H21	大橋 一己	19	
	新井 信男	15	S39	加藤 仁	13		菊池 秀雄	18		泉谷 剛	13		吉積 周史	19
	岸本 康弘	19		高橋 信房	15		長塚 元孝	13	S61	太島 久典	20		黒田 容	19
	高岩 正	14	S40	杉山 守男	13		佐合 好正	15	S62	小島 圭市	17		和田うらら	17
	星野 玉	13		三浦 政彦	17		林 悦明	15		新妻 吾郎	13		板山 稜	19
	橘 寿一	14		吉田 光雄	27	S50	碓井 斗治	13		嶋田 晃久	15			
	S35	小島 邦男	15	高橋 弘志	14		小出 信行	24	S63	木村 剛	14			
	佐藤 毅	24	平野 泰宏	19		星 俊一郎	24	H1	会田 涉	14	卒業生は維持会費の 納入をお忘れなく、 お願い致します。			
	今西佐恵記	14	中島 洋介	14		岡本 吾朗	30	H2	清水 勇紀	16				
	敦賀喜悦郎	19	山岸喜久生	16		石川 茂樹	15	H3	伊藤 正樹	14				
	原田 佳典	13	丸田 惟久	18		清水 恒二	15		茂出木成幸	15				

・納入者の2013年度以降の期限を西暦年、下二桁にて示す(卒業年順) ・2012年(H24)年8月31日現在 ・会計年度は9月1日に始まり翌年8月31日迄とする。

＊高輪会会報のお知らせ＊

高輪会会報は1995(平成7)年に同窓会が高輪会と改称してから毎年発行しており本年で第17号になります。本年迄は住所の判っている会員皆様にお送りしておりますが、その部数も15,000部を超え高輪会発足時の1.5倍超となっております。その費用だけでも会年間経費の50%を超え会としての負担も大きく他行事への支障を来す程となっております。その代替えとして高輪台高等学校ホームページ同窓会欄を改定し、会報の閲覧・

高輪会の最新ニュース・高輪会への連絡等々が出来よう努めております。来年度からは会報郵送を限定し、多くの皆様にはホームページをご利用いただくことでご理解をいただきたいと考えております。郵便で会報が届かなくとも高輪会と会員の皆様は繋がっております。是非、ホームページを有効利用していただき今迄以上の絆を深めて行きたいと思っておりますのでご理解・ご活用の方をお願いいたします。

卒業生は維持会費の
納入をお忘れなく、
お願い致します。

中高大一貫教育と伝統

高輪会の皆さまには、日ごろから本校の教育に格別のご支援とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。本校に赴任して二年目を迎えました。その間に、いろいろな所でご活躍されている多くの卒業生にお会いしました。皆さまの学校に対する熱い思いを感じ、心強く思っています。

さて、学校の方は、2007年度に開校した本校中等部の一期生が今年度高校3年生となり、中高大一貫教育システムの完成年度を迎えることとなりました。また、2013年度の東海大学付属推薦入学内定はこの6月期にほぼ決まり、3年生の約90%が内定しました。更に、その85%が第一希望の学科に内定し、本校は付属高校の中でも最も高い割合で東海大学の基幹学生を育成しているといえます。

本校は2004年度から2011年度まで2期連続8年間、文部科学

校長

黒坂 道生



省からスーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業の指定を受けていましたが、今年度も、更に5年間継続してSSHの指定を受けることが決まりました。現在、国の財政的支援を受けながら、科学技術系人材育成のために特色ある理数教育活動を展開しています。この取り組みは、本校の理数教育振興の教育改革の一環として推し進めているものですが、本校の創立母体が電気通信系の工業学校であったことや工業系学科があった付属高校として、自然な流れで現在のSSH指定校に繋がっていったのではないかと考えています。

中高大一貫教育システムが完成する今、これらの特色ある理数教育活動等が今後も定着し、本校の伝統となるように、更なる教育活動の充実に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。今後とも高輪会の皆さまの温かいご声援とご協力をお願い申し上げます。

SSH 3期目を迎えて

校長代理

片桐 知己治



2004年に、本校は東京の私立学校としては初めて文部科学省からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けました。SSHとは、将来の国際的な科学技術関係の人材を育成するために、先進的な理数系教育を実施する学校として指定された高等学校等の事です。SSHに指定されることで、学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を国の支援を受けて実施することができます。2002年から始まった事業ですが、今は全国で178校が指定を受けています。私感ですが、私立学校でSSHの指定を受けるのはとても難しく、この178校中私立は25校、わずか14%にすぎません。ちなみに、東京都の状況は国立が筑波大駒場、東京学芸大附属、東京工業大附属、都立が日比谷、科学技術、多摩科学技術、小石川、戸山、私立が文京学院大学女子、早稲田大学高等学院、玉川学園高等部、そして本校の12校です。

SSH活動を通して、本校の生徒たちは、JAXAや核融合研究所などを訪問して最先端技術を見学したり、東海大学を始め、東大や慶応など、いろいろな大学の先生方、Googleやライオン株式会社などの研究員の方々から講義を受けたり、海外の高校生との交流、全国のSSH校が集まる発表会など、一般の高校生では、とても経験できないような学習を行うことができます。

これをサポートする教員の負担はかなり重く、毎日本当にたくさんになるまで頑張ってくれています。でも、生徒の目が輝くを見ると、その疲れも吹っ飛びますし、先生方自身が、最先端の科学技術に触れることでスキルアップにつながります。

3期目を迎えたSSHでは、国際性の育成と企業連携を新たなテーマに加えました。本校OBの方々からも協力をいただいて、研究を進めています。

汝の思想を培え

副校長

小林 潔



高輪会の皆様、いつもお世話になっております。私は、この高輪台に来てから今年で5年目を迎えます。この間に高輪会・後援会・部活動後援会などを通して、多くの方々とお話をする機会があり、大変勉強になっております。特に、この高輪台は、歴史や伝統があり、学校の重さを感じます。歴代の先輩方のお知恵を拝借し、今後とも高輪台高校として成長していければと考えています。

ところで、今の世の中をみると、自分で考え行動し、その結果を自分で責任が負えない大人が多いように思います。他者に依存し、結果が悪ければ他者を責めるという行動が気にかかります。学校という場合は、教科学習をする場でもあります。集団生活をし、社会に出るために必要な人間としてのルールを学ぶ場でもあります。しっかりと最低限のルールやマナーを身につけさせねばなりません。そして、保護者と学校が話し合いの場を持ち、協力することが最も重要です。

今年になって、専門外の教科である「現代文明論」という授業を受け持つことになりました。先代の総長松前重義先生が掲げた4つの言葉の第1番目には、「若き日に汝の思想を培え」があります。これは、人が生きていく上で一番大切なのは、「正しいものの見方・考え方を身につけ、きちんと判断し行動できる」ということでした。これを受け、私の授業では、「見方・考え方について」を取り上げようと思っています。自分で決断を下すということは、失敗したときの責任の重さを感じて、なかなか踏み切れず難しいところもあります。本校の使命は、生徒が自分自身で判断し、最後まで責任を持って行動できる力を身につけさせることです。またこれは、日本の将来にも関わってくるのだとも思います。

今年度赴任された先生のご紹介

高校教頭補佐 北村 和広



2年前、23年間通い続けた付属望洋高校から代々木の教育開発研究所へ異動となった。そこでの業務は教員研修の企画・運営を中心とした付属校の教育支援。生徒のいない職場で、学校現場を陰で支えることに徹する日々は、「趣味は数学の授業とトイレ掃除」という私にとって、試練の2年間でもあった。そして、この4月、ここ高輪台高校・中等部で「教員生活」を再始動できることになり、約2年振りとなる授業では、号令係の「きりーっつ」という声に感動で身震いした。それは、20数年前、千葉県の某公立高校の教壇に初めて立った時の感動以上だったかもしれない。あの時は不安な気持ちもかなり同居していたが、今回はそれが無い。この感動を決して忘れないよう、「授業できるのは今年が最後」……常にそういう気持ちで教室に向かうことにした。

関田 信生



今年度4月に、付属高輪台高等学校に、1年5組の担任として着任致しました。担当教科は英語です。2003年度から2011年度まで(2006年度は付属翔洋高校に出向)、東海大学教育開発研究所に勤務し、教員研修会を中心に、付属諸学校の英語科の先生方の研修の支援をさせていただきながら、私自身も新しい英語教育について学ばせていただきました。4月からは、生徒たちや同僚の先生方と一緒に、教育実践を通してさらに多くを学ばせていただいております。部活動は剣道部を担当させていただいております。竹刀を用いた単なる競技ではなく、武道として剣道の理念と精神を、部員たちと一緒に探求していきたいと願っております。好きな言葉は「為せば成る」(Where there's a will, there's a way!)です。よろしくお願い致します。

羽部 真美香



東海大学付属高輪台高等学校専任教諭1年目、英語科の羽部真美香です。早いもので、本校で働き始めて今年度で3年目になりました。生徒や保護者の方を始め、自身が周りの方々に支えられながら教員として充実した生活を送れていることに感謝致しております。1年目から受け持ち始めた学年もついに3学年になりました。この3年間を振り返ってみれば毎日が刺激的で、新しい発見の連続だったように思います。そして現在も毎日、生徒と真正面からぶつかり、そして向き合いながら学ばせていただくことが多くあります。これからも、生徒と共に自身も、教員としても人間としてもより成長し続けたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

高倉 利一郎



登下校時に校門に立ち、生徒への声掛けを始めて早4か月が過ぎた。直近の3年間を大学の研究所で過ごし生徒と関わりが少ない生活をしていた私にとって、約1600名の生徒と朝晩に交わす挨拶は実に新鮮である。

「おはよう」「さようなら」のことばには、「今日も元気でがんばろう!」「また明日、気をつけて帰るなさい」といった気持ちを込めている。

生徒にも自分の気持ちを短いことばに表現する余裕をもってもらいたい。何事にも感謝の気持ちをもってもらいたい。「挨拶」は自らの気持ちを示すバロメーターであるからだ。

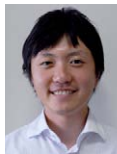
ご家庭で「挨拶」はどのように交わされていますか。学校という小社会と行きかうご子女からさまざまな気持ちが表現されているのではないのでしょうか。教員生活30年目を付属高輪台高等学校・中等部で迎えます。「どうぞよろしくお願い致します!」

橋本 智孝



初めまして。今年度、付属第五高校より転動してきました。橋本智孝と申します。ここ高輪台高校では、高校2年6組の担任としてHRを担当いたします。また、教科は、本校では高校3年生で行う情報を受け持つことになりました。そして部活動は、中等部・高等部の放送部とゴルフ部の顧問になりました。私は、工業、翔洋、第五合わせて17年過ぎました。教えられる教科も工業、情報、理科と増え、分掌も新しく戸惑うことばかりですが、新たな可能性を信じて頑張っていきたいと思っています。生徒の見本になれるようにさらに、充実した学生生活が送れるようにしっかり後押ししていくつもりです。まだまだ、ここでの生活が始まったばかりで、高輪台のルールに戸惑いを感じる日々ですが、精一杯生徒の為に頑張っていきますのでこれからもよろしくお願い致します。

渡邊 聡



本年度より専任教諭として勤務させていただくことになりました。渡邊聡です。担当科目は数学で、野球部の顧問をしております。

高輪台高校に務めて2年が経ち、1年生から担任を持たせていただいている学年が卒業を迎える年になりました。共に過ごしてきた生徒たちと最後まで走り続け、また卒業までに少しでも多くのことが伝えられるよう、私自身が情熱を持ち生徒と接していきたいと思っています。

教員として、担任業務や部活動の指導、校務分掌など様々な業務に携わる中で、大変な部分もあります。しかしそのときに支えになるのが生徒であることを、この2年間で非常に感じるようになってきました。

最初に抱いていた気持ちを忘れずに、さらに成長していきたいと思っていますので、今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。

斉藤 裕美子



今年度より、東海大学付属望星高等学校から東海大学付属高輪台高等学校・中等部に転勤いたしました斉藤裕美子と申します。今年度は、高校3年所属で部活動は吹奏楽です。また、担当科目は中学2年の英語と高校3年のcallです。

中等部の授業は初めてのことでありますが、生徒たちの素直で柔軟に物事を見る心に触れることができたのは人生の貴重な経験だと感じています。そして教師として、その素晴らしい感性を大切に育てていかなければいけないと強く感じております。

さて、中学・高校時代というのは人生の基礎になる一番大切な時です。本校の生徒には、様々のことにチャレンジをし、人間性を磨いて、次の道へと羽ばたいていって欲しいと思っています。そのために、精一杯のお手伝いしております。どうぞよろしくお願い致します。

島村 誠



教科は保健体育科、3年9組学級担任、剣道部顧問をさせていただいております島村誠と申します。

今年はロンドンオリンピックが行われました。日本からも選手が多数参加をします。オリンピック選手がやっていることは「当たり前のことを当たり前に行う」それを継続することが自分自身の力になっていくそうです。そして、「感謝の気持ちを持つこと」現在、選手として活躍できるのは親、監督、仲間のおかげであることを考えていくことが成長への近道となります。この気持ちは学校という場所で身に付けてほしいことです。少し意識をするだけでも人間として成長できると思います。私はこのような精神を高輪台高校の生徒たちに伝えていきたいと思っています。この初心を忘れることなく生徒とともに精進していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

日塔 瑞乃



今年度より付属浦安高等学校より異動になりました。本学園で教員として勤務し、多くの時間がたちますが、初めて中等部の担任を務めさせていただいております。教科は国語。部活動はダンス部です。現在は中学校2年生・3年生と毎日楽しく学習させていただいております。私はこちらの学校に参上するまでいくつかの学校で勤務させていただきました。どの場所でも教えることばかりではなく多くの生徒たちの力に助けられ、教えられここまでたどり着いたような気がいたします。

他の新任の先生方とは異なり、新鮮さはありませんが、常に初心を忘れず、かつ経験を生かし本校で安心感を与えられるような教員になればと思っています。とにかく、生徒たちのパワーに負けないようにがんばってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

学校報告・部活動紹介

◆柔道部女子 「関東大会に出場して」

顧問 水落 健太

柔道部女子は、6月1日～3日に横須賀アリーナにおいて行われた関東柔道大会に出場しました。柔道部は男子が部員の大半を占める中で、女子は3年生1人、2年生2人、1年生1人の計4名です。この4名が男子部員の中に混ざって練習し、団体戦としては初めて関東大会の切符を手に入れました。

高校の団体戦は男子が5人制で行われるのに対して、女子は3人制で行われます。高輪台高校の必勝パターンは、先鋒の長瀬が粘り、中堅で主将の中川が何が何でも勝利を収め、大将の豊崎がその勝ちを守り切るというもの。東京都予選ではこのパターンがうまく機能し、何とか勝ち上がることができまし

たが、関東大会では残念ながら初戦敗退という結果に終わりました。しかし、このチームの現時点での力を考えると、持てる力は出し切り、精一杯戦ったと思います。

生徒たちに伝えていることがあります。「柔道の神様はいる」ということです。柔道の神様は、行いを正し、一生懸命努力する選手に最後は必ず微笑んでくれると伝えています。柔道を通して何事にも努力を惜しまない人間になって欲しいと強く願います。また、柔道の究極の目的は人間形成です。人間的な完成を目指すことが最後には勝利を引き寄せるというスタンスのもと、勝ったらみんなが喜んでくれる、応援してくれるようなチームを目指していきたいと思っています。



◆野球部 「初の関東大会出場」

3年1組 渡辺 諒

私たち野球部は甲子園出場を目標に日々の練習に励んでいます。野球部のグラウンドはさいたまにあり、バスでの移動になるので、他の高校に比べ練習量が少なくなってしまう。その限られた時間の中でいかに緊張感を持ち集中して練習をできるかが、練習量の少ない私たちには一番大事なことだと思います。また、野球部は学校生活をおろそかにしないように、日々学校生活を送っています。練習時間が少ないので授業中も集中し、その集中力を野球につなげるよう努力しています。

昨年の11月半ば、顧問の先生より部員の基本的な生活面における指導を受けました。42日間、じっくり自分自身の生活面を見直し、それまで団結力の薄かったチームが「野球をしたい」という想いで1つになりました。4月5日に行われた春季東京都大会では準優勝することができ、高輪台野球部史上初の関東大会出場の切符を手に入れました。

関東大会では、思うような試合ができず1回戦で負けてしまいました。しかし、チームが1つにまとまることの重要性を知りました。野球部の118人が1つになり、最高の応援とともに1日でも長く野球をやり、初の甲子園出場を目指して行きたいと思っています。これからの後輩たちのためにも、是非、新たな高輪台野球部の歴史を刻みたいと考えています。



◆水泳部 「関東大会を終えて」

2年8組 伊能 龍

今回私は、7月24日から26日まで群馬県で行われた水泳の関東大会に出場しました。

本校に水泳部が存在していることを知らない人も多いとおもいますが、実は学校内活動はないものの、各自クラブチームで日々練習に励んでおります。

高体連による水泳の大会は年に、3つから4つくらいあり、このような試合の時は本校を代表して出場させて頂いております。

この度、私が関東大会出場に漕ぎ着くことができたのは、親を始め先生方やコーチなど色々な方達の応援、支えがあったからこそ実現することができました。

この1年私は、インターハイ出場を目標に日々練習を積んでまいりました。東京都の予選ではしっかりタイムも上がり体調も万全でいました。

しかし、関東大会で自分の持っている力を上手く発揮できず結果が残せず、結局インターハイを逃してしまいました。

この悔しさをバネにまた1年練習を積み、来年は同じ失敗をせず、関東・全国・国体を目指し精進してまいりますので、応援よろしくお願い致します。



2011年度活動報告

2011年度 収支決算書

(2011年9月1日～2012年8月31日)

(単位：円)

収支	科目	予算	決算	備考
収入	前年度繰越金	4,176,590	4,176,590	
	1. 入会金	4,100,000	4,100,000	入会金 @10,000×410名
	2. 維持会費	400,000	510,000	維持会費 66名分
	3. 懇親会費	200,000	195,000	
	4. 学校援助金	0	0	
	5. 積立金繰入	0	0	
	6. 預金利息	200	597	普通・定期預金利息
支出	7. 雑収入	0	40,000	屋形船祝儀、学校・後援会・部活後援会等
	合計	8,876,790	9,022,187	
	1. 会議費	300,000	232,472	会合、歓迎会等
	2. 広報費	30,000	20,000	連合広報誌「こち」・パンフ等
	3. 渉外費	300,000	299,500	連合同窓会・甲府甲子園・他同窓会等
	4. 印刷費	1,500,000	1,479,450	高輪会会報
	5. 通信費	1,100,000	1,097,020	会報郵送、郵便代等
	6. 旅費交通費	400,000	473,502	役員会・連合同窓会・式典参加等
	7. 事務用品費	50,000	0	
	8. 懇親会費	300,000	281,510	屋形船懇親会、式典懇親会等
	9. 記念品費	400,000	363,510	証書ホルダー・功労賞
	10. 補助費	50,000	0	
	11. 慶弔費	50,000	40,750	会員慶弔等
	12. 援助費	50,000	18,500	同窓会援助等
	13. 積立金		0	
	14. 予備費	50,000	0	
	15. 事務委託費	420,000	420,000	名簿管理・会合準備等
	16. 雑費	50,000	8,615	振込手数料
積立金	次年度繰越金	3,826,790	4,287,358	
	合計	8,876,790	9,022,187	
	前年度繰越金	1,000,000	1,000,000	
	今年度繰出金			
積立金	今年度繰入金			
	次年度繰越金	1,000,000	1,000,000	

お知らせ

□会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費1年分(2千円)～5年分(1万円の一括)の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用ください。

口座番号 00100-9-155498

口座名(加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入ください。

尚、すでに納入済の節はご容赦ください。

□住所不明者の調査

会報の届かない方(住所不明者)等をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報(氏名、卒業年、等)を同窓会事務局・高輪会ホームページまでご連絡ください。

□ホームページ開設

高輪会のホームページが開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していこうと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

学校・高輪会行事 (2012年9月～2013年3月)

2012年9月1日	第2回後援会委員総会
8日	高輪会役員会
15日	第37回連合同窓会総会(熊本星翔高等学校同窓会)
18日	期末試験(～20日中等部、～21日高等学校)
25日	第11回中等部・高等学校合同体育祭
10月1日	後期始業式、高輪会会報 Vol.17 発行
6日	第48回建学祭(～7日)
20日	高輪会役員会
11月1日	建学記念式典
13日	一斉公開授業(～14日)
24日	第3回後援会委員総会
25日	高輪会創立60周年記念式典
29日	中間試験(～30日中等部、～12月4日高等学校)
12月29日	年末・年始休暇(～1月5日)
2013年1月22日	高等学校推薦入学試験
2月1日	中等部第1回入学試験
3日	中等部第2回入学試験
6日	卒業試験(～8日中等部)
10日	高等学校一般入学試験、高輪会役員会
3月1日	高輪会入会式・3年生を送る会/新幹事歓迎食事会
3日	中等部第4回、高等学校第64回卒業証書授与式
5日	期末試験(～8日)

編集後記

東北地方大震災から1年を過ぎましたが、復興の足並みも揃わず東北からの佳き便りが少ないのも気掛かりな昨今です。そのような中ではありますが、高輪会も同窓会が設立されて60年を超える年となりました。これは東海の歴史の中でも最古の部類に属するものです。

本年「高輪会創立60周年記念式典」を催すことが出来るのは無上の慶びと役員一同張り切っております。本年11月の記念式典を盛り上げていただくのは会員皆様です。同窓会還暦を「母校に還ろう」の合言葉の下、再会できることを楽しみにしております。終りに高輪会会報17号の発刊につきまして原稿執筆・写真提供等々ご協力いただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。(S.M)

同窓会連絡先

高輪会(東海大学付属高輪台高等学校同窓会)事務局
 〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16
 TEL: 03-3448-4011・FAX: 03-3448-4020
 ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>
 高輪会事務局分室(株)山久プランニング内(東海大学付属高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄)
 〒107-0062 東京都港区南青山2-12-15 南青山2丁目ビル5階
 TEL: 03-4588-1877 FAX: 03-6893-6259
 E-mail: lulu-007@swan.ocn.ne.jp